



げんき! 花まるっ!

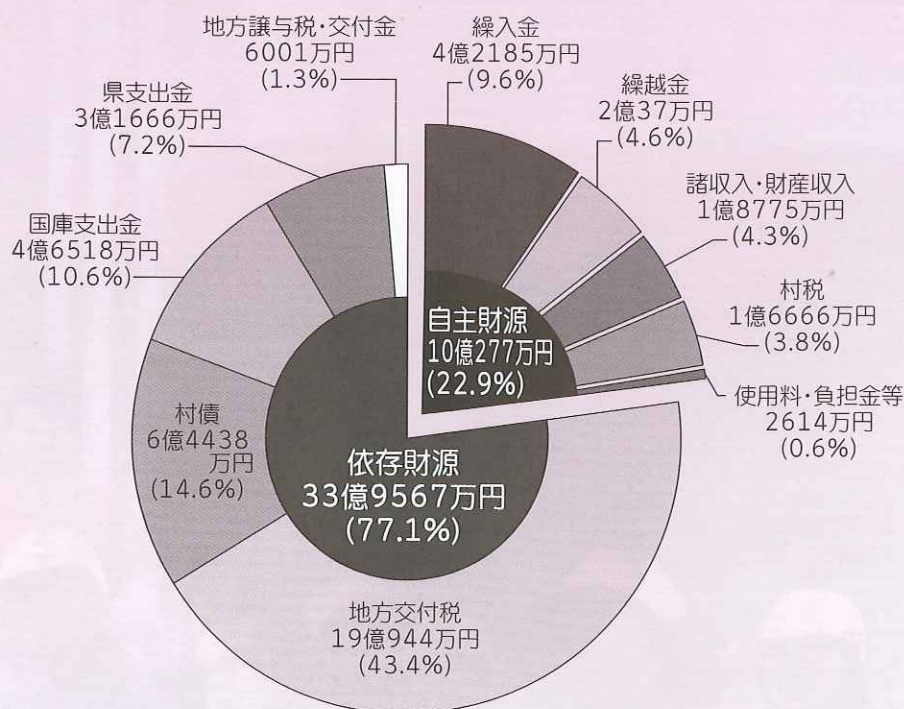
10/10 なるせ保育園 マラソンごっこ

平成25年度各会計

全会一致

決算を認定

一般会計歳入 43億9844万円



9月定例会議は、5日から16日までの12日間の会期で開催されました。

人事2件、条例など11件、契約締結3件、補正予算8件、決算8件の合計32件と陳情5件を採択、1件を趣旨採択、1件をみなし趣旨採択とし、議員発議の意見書など6件を全会一致で原案のとおり、同意・可決・認定しました。

また、一般質問は2議員が登壇し、村政をただしました。

一般会計決算

進む財政健全化

全会計の滞納額は増加

平成25年度一般会計の決算額は、歳入が43億9844万円、歳出が、42億9440万円です。差し引き1億404万円の黒字となり、このうち翌年度に繰り越す財源2991万円を差し引いた実質収支も7413万円の赤字となりました。

あきた未来プロジェクト事業やミニライセンサー建設事業、草地畜産基盤整備事業など大型の普通建設事業により、前年度に対する決算額は歳入歳出とも大幅な増額となっています。

また、財政の硬直性を示す経常収支比率などの主要指数や財政健全化を判断する比率は、更に好転しました。

しかしながら、税金などの滞納となる収入未済額の合計は前年度に対し増加していることや各特別会計の収支も赤字となっていますが、国保事業勘定では法定外、簡易水道と下水道事業では基準外となる一般会計からの繰入れが行われており、今後の大きな課題として横たわっています。

決算議会9月定例会議

監査委員決算審査意見



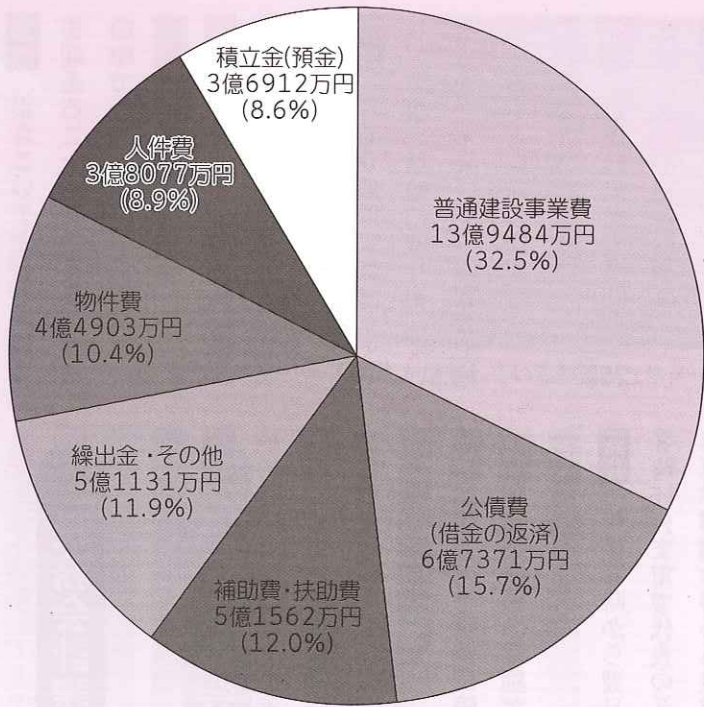
形式収支は全会計とも黒字であるが、特別会計は単年度収支が赤字となっているものが多く、一般会計と特別会計が一体となり中長期的な財政計画による適正な運営が望まれる。

政府による大規模な経済政策が続いているが、消費増税など今後の経済情勢は不透明であることに加え、地方財政の厳しさは不変であり、限られた財源の効率的な配分と簡素で繊細な行財政運営を目指し、職員の英知を結集し、村づくりに邁進していただきたい。

監査委員 吉田 正
佐藤正次郎

一般会計歳出 42億9440万円

性質別内訳



■各会計の決算額

会計名	決算額			収入未済額 (税金等の滞納)	
	歳入 (収入)	歳出 (支出)	差し引き		
一般会計	43億9844万円	42億9440万円	1億404万円	685万円	
特別会計	国民健康保険	3億7396万円	3億5884万円	1512万円	793万円
	国民健康保険(診療所)	8137万円	7462万円	675万円	-
	後期高齢者医療	2455万円	2420万円	35万円	-
	介護保険	2億9598万円	2億9473万円	125万円	3万円
	介護保険 (幸寿苑)	3億1018万円	3億0099万円	919万円	2万円
	簡易水道	2億7463万円	2億7317万円	146万円	50万円
	下水道	9415万円	9333万円	82万円	61万円
	小計	14億5482万円	14億1988万円	3494万円	909万円
会計	58億5326万円	57億1428万円	1億3898万円	1594万円	

※金額は表示単位未満を四捨五入していますので、合計などが一致しない場合があります。

■財政の主要な指数

区分	23年度	24年度	25年度	全国町村平均
財政力指数	0.11%	0.10%	0.10%	0.39%
経常収支比率	86.8%	84.1%	83.9%	84.6%
公債費負担比率	17.7%	17.8%	22.6%	15.3%

※全国町村平均は、総務省の「地方財政白書」における24年度決算の数値です。
※25年度の公債費負担比率が高いのは公債費(借金)の繰上償還を行っているためです。

■財政健全化判断比率

区分	23年度	24年度	25年度	基準値	
				早期健全化	財政再生
実質赤字比率	-	-	-	15%	20%
連結実質赤字比率	-	-	-	20%	40%
実質公債費比率	12.6%	9.4%	8.3%	25%	35%
将来負担比率	-	-	-	350%	-

※各数値とも低ければ低いほど健全となる。

事業成果と今後を問う



決算特別委員会

企画商工課

関連性はあるか

質問 村制施行125周年記念事業によさこい楽曲CDと大旗作成は村制施行と関連性があるか。

答弁 よさこいチームも区切りを迎えることなどがあり、事業の中で行った。

商品として成り立つか

質問 仙人ゆりの栽培委託はどのような状況か、商品として成り立つ見込みがあるか。

答弁 なるせ農園で保管しており、球根の増殖に取り組んでいる。ゆき未来づくり研究会で協議し良い方向を目指す。

これまでの交付総額は

質問 新規起業育成補助金、25年度末までの交付総額は。

答弁 1億9970万4千円となっている。

人口増対策は

質問 少子化対策あるいは人口増として結婚政策は。

答弁 村職員を中心にプロジェクトチームを立ち上げている。婚活事業についても検討を行っている段階にある。

税務会計課

払えるのに納めない

質問 税金未納者、払えるのに納めないという状況はあるか。

答弁 そのような事例はない。納税者を信頼し督促していく。

切り替わる時間は

質問 庁舎等の警備保障会社への委託料、役場の電話が切り替わる時間帯は。

答弁 午後6時から翌日の午前8時15分までで代表の3401番だけが切り替わる設定となっている。

民生課

対象年齢引き上げしては

質問 敬老会の対象年齢を75歳まで段階的に引き上げてはどうか。また、会場を1箇所にする案などはどうか。

答弁 毎年話題となる。対象年齢を短くし、会場を1箇所にするれば楽で節約にはなるが、出席率が下がると思う。

罹患者が増えていないか

質問 最近、带状疱疹に罹患する人が増えているように思うが。

答弁 带状疱疹は幼い頃に水疱瘡に罹ったかどうかで左右する。村では幼い頃に水疱瘡の予防接種を行っており何十年後にその結果がでるが、こうした積み重ねが予防だと考えている。

評判がよくないようだ

質問 自殺予防のほり旗は評判が悪く、効果があるか。他町村の状況は。

答弁 郡内は全市町村で作成しており、近隣でも掲揚している市町村が多い。

補助は村内業者の場合か

質問 空き家解体の補助を受ける場合は村内業者の対応か。

答弁 村内業者で対応する場合となっている。

総務財政課

まだ線上償還できるか

質問 47億円の公債費残高のうちまだ線上償還できる額は。

答弁 銀行分として1億ほどはできる。

何人か

質問 ふるさと納税者は何人か。

答弁 35名、145万5千円となっている。



敬老会のあり方が検討課題に

農林課

来年度以降の見通し

質問 奨励金のある飼料米や米粉用米の状況と来年度以降の見通しは。

答弁 法人と個人の契約が13件ある。26年度はかなり増える見込みとなっている。飼料米は需要があり進めていきたい。

施設の管理区分は

質問 畜産事業における施設の管理区分はどうなるか。

答弁 肥育施設は民間が実施しており事業者が管理し、繁殖牛舎と堆肥舎は村が実施しており、指定管理を予定している。

建設課

ほとんど手つかずでは

質問 やまゆり温泉へ手倉から柳沢までの道路を利用している方が多いが補修が少ないのでは。

答弁 利用者が多いことは認識しており、地元と協議しながら補修計画を作成する。



利用者が増加している村道ジュネス・柳沢線

村道脇刈り払いの基準は

質問 村道脇刈り払いが、三又岩井川線と日影線となっている理由と何か基準などが設定されているか。

答弁 村道として他町村へ通じる重要な路線、天正の滝という観光施設への路線として行っている。各集落の路線は集落にお願いしているのが現状だ。

除雪の業者委託拡大を

質問 除雪オペレーターを募集しても応募が少なく、直営の職員確保や育成は難しいように感じる。直営職員確保も重要だが、オペレーターを多く抱える業者への委託枠を拡大すべきではないか。

答弁 オペレーターの応募はあったが経験がほとんどない状態であった。重要なことであり、今後検討していく。

入札不落はあるか

質問 被災地などでは人件費や資材高騰により国や県でも入札の不調があるようだが、本村はどうか。

答弁 村では発生していない。

教育委員会

年間の配信数は

質問 保育園と小中学校における安全安心配信メールの1年間あたりの回数は。

答弁 保育所で6回、小学校で16回、中学校で3回となっている。

感触は

質問 ALT(外国語指導助手)の単独設置など広い意味で海外交流による人材育成の感触は。

答弁 以前は外国人を避けていたような感じだったが、最近自分から声をかける場面が多くなったと感じている。

東工大の教授が中学校の授業を参観した際には、レベルが高いと評価されており小・中ともにだいたい伸びている感触だ。



村が単独でALTを配置、高度な英語授業が実現

診療所

高い理由は

質問 空き家解体補助における解体料は130〜150万円だが、医師住宅の解体は250万円となっている理由は何か。

答弁 住宅解体により併設していた車庫の解体部分の補修と敷地内の立木などに対する近隣の苦情から伐採処分した経費も含まれている。

ちよつと一息



シャッターチャンス到来!

若い女性と子どもしか撮らない、撮った写真はなかなか見せないことで有名な局長が、今年最大の天体ショーとなった皆既月食10月8日を撮影。食分50%にさしかかったところへ、飛行機が通過するという幸運に恵まれた。

滅多にないシャッターチャンスを手中に収め、早速、事務室で写真展を開催しています。



右側上段に機影がくっきり

佐々木 健 夫 議員

第三セクター関連施設への支出も公開すべき

村長 議会へ詳しい資料を提示し公開している



質問 村広報による第三セクターの情報公開では村補助金がゼロになっているが、村の決算書によると、この関連施設に対し、ここ5年間で6億9千万円ほど支出している。

実際は多額な支出があることを住民が分かるようになるかの形で公開するべきではないか。

村長 第三セクターが運営している施設は村の施設であり、補修費等は村が行うことを前提として指定管理を行っている。

その責務として村有施設を維持する経費であり、その予算を議会に提案して議決をいただいているので、公開していると思うている。

質問 第三セクター常務取締役退職について

質問 常務取締役が退職したようだが、経営センスのある方を配置しなくても経営の安定ができる見通しでの対応か。また常務取締役が担っていた現場トップの役割をどなたがやることになるか。

村長 常務取締役は2年間の約束で就任していただき大変頑張ってもらったが、今回は再任しないことにした。

常務に代わる役割は、職員を退職させ取締役になった統括事業部長と同じく取締役になった営業部長の2人が協議し決議して進めていくようにした。

給食センター再移転、当時の答弁と整合性がない

質問 平成16年の移転時に学校からスキー場までは10kmも離れているので車の燃料費等で不合理だと質したが移転した。今回、学校近くに再移転するということは、当時の村長答弁と整合性がないように思う。

村長 給食センター移転は国道から役場に向けた道路整備の関係と給食センターが老朽化したため、現有施設を活用する考えでジョリフェームを改築したほうがいいと判断して移転した。当時議会で質問あった内容については手元の資料では確認できなかった。

給食費無料化。要望等があったか

質問 小中の給食費を無料化にしなければならぬほど保護者が困窮あるいは切実な要望があったか。また、財政的に今後やり通せるか。

村長 PTA等で給食費が大変だという話題があり、人口減少・子育て支援対策の充実という視点で判断した。今後、村の税金を使っても村財政が立ち行かなくなることはあり得ないと思うている。

ダム建設事務所の村内建設は
質問 ダム建設事務所の村内建設に対し村長が言及したよ

うだが、どうなっているか。

村長 建設事務所はこれまで村に建設するだろうとのことと進めてきた。しかし建設事務所は湯沢河川国道事務所のフロアに所長が兼務した成瀬ダム事務所を設置して事務を行っている。大変不満であり村内建設については今後も議長と連名で要望していきたい。

原石採取場所は決まったか

質問 ダム堤体の原石採取場所は決まったか。

村長 会議等では狐狼化山と赤滝山の両方で採掘する方向で検討しているとのこととまだ決定していないようだ。

佐々木 正利 議員

夕方のポンプ操法訓練、照明器具などの支援を

村長 消防団とよく協議して適切に対応する



質問 消防団員の方々は、毎年6月から9月にかけて多目的グラウンド駐車場で、夕方から小型ポンプ操法の訓練を行っており、照明や水利の確保に苦慮しているのが現状である。

村長 これらに対して、照明器具の整備など訓練しやすい環境づくりを支援していく考えはないか。

村長 毎年、消防団から訓練しやすい環境などの要望や意見を聞きながら十分対応してきたつもりである。

今後消防団とよく協議をして適切に対応することを検討したい。



夕刻の訓練は照明が不可欠

所として選定しているが、選定した施設が充分かどうかとなると議論のあるところである。

遠くに行かなくても、最低避難できる場所は確保しておくことも想定しなければならぬし、非常災害の場合は、臨機応変にどう対処するかだと思ふ。

土砂災害対策について

質問 今年も全国で土砂災害が発生し、多くの方が犠牲になっている。土砂災害の危険性が発生した場合、どこを避難場所と想定しているか。

村長 基本的には各地域の集会所やセンターなどを避難場

質問 県では土砂災害の危険箇所看板を設置することになっていたが、いまだに設置されていない。村独自で危険箇所を住民に周知すべきでないか。

村長 土砂災害の危険箇所の看板を8月1日から12月10日までに村内14カ所に設置する連絡をいただいている。危険箇所を記した地図を作成して、各自治会長や集会所へ情報提供する予定である。

質問 村の防災計画の進捗状況はどうなっているか。

村長 遅れており大変申し訳ないと思っている。資料編の改正に時間を要して、先週資料編を配布したところであ

る。引き続き改訂した防災計画に合わせた各種マニュアル等についても改訂を進める。
交通安全対策について

質問 今年に入り成瀬ダム工事関連と思われるが、国道342号線の朝夕交通量が多くなっている。村民に対し注意喚起は勿論、事故防止の対策を考える時期と思ふが。

村長 人身事故には至っていないが、物損事故等はあるので、国交省を通じて関係業者へも交通事故防止に努めるよう申し入れを行っている。関係機関と連携を図りながら、看板設置や広報などの啓蒙活動に努めてまいりたい。

主な質疑

9月定例会議最終日となった16日に議案に対する質疑が行われました。
条例などの主な内容と質疑を要約してお伝えします。

いよいよ赤ベコの里復活へ！ 村畜産施設と公共牧場条例を制定



供用開始が近づく大型畜産施設（椿川ウル井地区）

○村畜産施設条例
○村公共牧場条例

椿川ウル井地区に建設している畜産施設の供用開始に向け、畜産振興を図り、農業経営の安定と合理化に資するための施設を設置する条例と優秀な家畜の生産育成を行い農家の畜産経営の改善を図り、畜産振興を目的とした条例

質問 繁殖牛舎の飼育は、黒毛和種と日本短角種（赤ベコ）の両方か。かつて、短角牛は放牧による自然交配だったが、そのような計画か。

答弁 黒毛和種と日本短角種をそれぞれ100頭ずつ飼育する計画とな

っている。放牧による自然交配まで詰めていない。課題もあるので、関係機関と協議し詰めていく。

村で新たな保育事業が可能に

○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（ほか1条例）

平成24年に子ども・子育て関連3法が制定されたことにより、平成27年度から新たな子ども・子育て支援の制度が始まることを受け、村でもこれらの事業を行えるよう設置基準など関係する条例を整備した。

質問 将来にわたり、村内においてこれらの条例に基づく事業を行う方が出現する見込みはあるか。

また、村外の方でも村内で事業を行う方がでた場合に認めることになるか。

答弁 これから策定する子ども・子育て計画において判断していくことになるが、現在はいなくとも将来に出てくる可能性を考え、備えとして条例化するもの。村外の方が事業を行う場合も、同様な判断を行うことになる。

人事

任期満了に伴う教育委員の人事案が提出され全会一致で同意しました。投票による採決の前に、地域など人選に対する質疑があり、教育関係としての過去の経歴などを考慮し、地域の偏りは今後において解決されるとの答弁がありました。

教育委員



高橋 養榮 氏
（椿台 65歳）
【新任】



佐々木一二 氏
（岩井川 61歳）
【新任】

（任期）平成26年10月1日から平成30年9月30日まで

料金体系を見直し

簡易水道事業

現在進められている県内町村の電算共同利用の情報システム導入に伴い、簡易水道の料金体系が見直されることになり、関連する条例の廃止や改正が行われました。

変更内容は、分担金とメーター器の使用料を廃止し、水道の使用量に応じて料金を徴収することになりました。

条例は、平成26年11月から施行されますが、料金は平成27年の第1期分から反映されます。

26年度一般会計補正予算(第3号)の主なもの	
歳入	
○村税	
村民税の減	▲218万円
固定資産税の増	1059万円
○地方交付税	
普通交付税の増	4340万円
○県支出金	
農事法人確保・育成事業補助金	150万円
○財産収入	
土地・村有林売払収入の増	898万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金の減	▲8000万円
○繰越金	
前年度繰越金の増	5413万円
○諸収入	
奨学資金・物産振興資金貸付金の増	285万円
桧山台地区地目差補償金	2131万円
保健文化賞賞金	200万円
○村債	
臨時財政対策債の増	535万円
歳出	
○総務費	
マイナンバー・戸籍システム関連経費	1229万円
○農林水産業費	
農村交流センター整備費	286万円
農事法人確保・育成事業補助金	150万円
畜産施設管理費	849万円
農地費(施設補修・簡易ほ場整備)	770万円
林道補修の追加	100万円
○土木費	
道路維持費追加	200万円
冬期交通対策費の追加	210万円
公営住宅管理費の追加(備品)	176万円
○教育費	
給食センター整備(基本設計等)	700万円

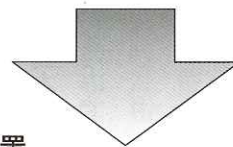
改正前

1 専用給水装置

種別	基本料金(1月につき)		超過料金 (1㎡につき)
	水量	料金	
一般用	10㎡	1000円	110円

2 メーター器使用料

口径	料金(1月1個につき)
口径16mm以下	80円
口径25mm以下	170円
口径40mm以下	330円
口径40mm以上	330円



改正後

1 専用給水装置

種別・口径	料金区分	基本水量 (1月につき)	基本料金 (1月につき)	超過料金 (1㎡につき)
	一般用	20mm未満	10㎡	1180円
20mm以上 30mm未満		10㎡	1270円	110円
30mm以上		10㎡	1430円	110円

契約

○米利用施設建設工事

契約額 6739万円
相手方 株式会社 村岡組(横手市)
工事期限 平成27年1月13日

○簡易水道事業配水管布設工事(3)

工区(変更契約)

(契約額)
変更前 6575万円
変更後 7331万円
変更額 756万円
相手方 高橋土木・岩野・備前特
定共同企業体(東成瀬村)

(工事期限)

変更前 平成26年10月10日
変更後 平成26年11月28日

○簡易水道事業配水管布設工事(4)

工区(変更契約)

(契約額)
変更前 6048万円
変更後 6596万円
変更額 548万円
相手方 大橋・横手水道特定共同
企業体(東成瀬村)

(工事期限)

変更前 平成26年10月10日
変更後 平成26年11月28日

質疑白熱

9月定例会議2日目となった9日に予算特別委員会が開かれました。

主な質疑の内容を要約してお知らせします。

**平成26年度
一般会計補正予算(第3号)**

このことだが対象年齢は。
答弁 65歳以上の5歳刻みの人を対象としている。

答弁 現在は白紙で、地質調査や設計など専門的な調査結果で検討していきたい。

村民税減額の理由は

質問 村民税が300万円の大
きな減額となった理由は何が。

本工事の内容は

質問 農地費の本工事費追加に
650万円、工事内容はなにか。

答弁 本年度から県と合同で特
別徴収の一斉実施という制度に
移行したことに伴い、翌年度徴
収となるものがあるため減額と
なった。

答弁 岩井川4地区と手倉地区
における簡易ほ場整備事業で、
排水路の工事を追加した。1割
負担の村単独事業となっている。

歳 出

駆除の範囲は

質問 マイマイガが集団で張り
付いた電柱や看板の駆除を行う
予算はどこまでの範囲を行うも
のか。

業者はどこか

質問 道路維持費委託料は川通
り地区の支障木伐採との説明が
あったが業者はどこか。また、
あの付近のカーブの立木も見通
しが悪いと言われている。

ふる里館冬囲い

質問 ふる里館の改修工事を行
うことになっているが、さらに
冬囲いもするものか。

答弁 玄関以外の本体の冬囲い
となっている。

監督は

質問 全県駅伝大会の監督など
決まっているか。

答弁 監督は佐々木悦男さん、
コーチは小学校教頭、中学校教
員の佐藤秀美さんとなっている。

石碑の保護を

質問 村内にある先人が造った
石碑の保存や意味の案内板を進
めてはどうか。

答弁 村内の石碑は大半が明治
時代に造られた。風化や地震な
どにより傷みが目立つようにな
った。3年ほど前から拓本など
保存の一環として行っているが、
様々な意見を聞きながら検討し
ていきたい。

【幸寿苑】

平成26年度
介護保険特別会計(介護サービ
ス事業勘定)補正予算(第2号)

どの木を切るのか

質問 幸寿苑の支障木伐採委託
料は、道路沿いのケヤキか、ま
た、切る理由は何が。

答弁 道路沿いのケヤキで、電
線に引掛かるなどの理由によ
り東北電力で枝打ちをしたが、
昨年は雪により折れ下がったり、
村営住宅の方へ落ち葉が散らば
るなどいづれも大きくなり危険
な状態であり、3メートルか5
メートルの高さに切る。

答弁 国文祭などがあり村外か
らの多くの人が入ってくるとい
うことで、国道、旧国道の電柱
やバス停などひどいと思われる
箇所を村内全域となっている。

対象年齢は

質問 成人用肺炎球菌予防接種
に1人3千円の補助を行う内容

どのような構想か

質問 給食センター新設基本設
計委託料が計上された。中学校
西側周辺のことだが、建物は
どのような構想か。

請願・陳情



審査結果を報告する高橋常任委員長

9月定例会議で5件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し、審査の結果、5件すべてを採択すべきものとし、要請に基づき、意見書を提出することに決定しました。
また、審議を継続していた2件の陳情は、1件を趣旨採択、1件はみなし趣旨採択としました。

採択とした陳情

○軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情
(陳情者) 軽度外傷性脳損傷仲間の会
代表 藤本久美子

○消費税増税に関する意見書の提出を求める陳情

(陳情者) 秋田県商工団体連合会
会長 小玉 正憲

○地域経済の発展と雇用の安定に関する陳情

(陳情者) 連合秋田横手湯沢地域協議会
議長 齊藤 斉

○政府による緊急の過剰米処理を求める陳情

(陳情者) 農民運動秋田県連合会
委員長 鈴木万喜夫

○農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する陳情

(陳情者) 農民運動秋田県連合会
委員長 鈴木万喜夫

趣旨採択とした陳情

○特定秘密保護法の廃止を求める意見書提出を求める陳情

(陳情者) 秋田県平和委員会
理事長 風間 幸蔵

みなし趣旨採択とした陳情

○特定秘密保護法の廃止を求める陳情

(陳情者) 秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 中村 秀也 他1名

※みなし(趣旨)採択とは?

同じ会期中(本村は通年議会により同じ会議中)において同じ趣旨の議案や陳情などが議決又は採択されている場合は同様の結果とみなすこと。

9月定例会議議決事項名

平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(35万円の追加)
教育委員会委員の任命(高橋養榮氏・新任)	平成26年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)(388万円の追加)
教育委員会委員の任命(佐々木一二氏・新任)	平成26年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第2号)(919万円の追加)
過疎地域自立促進計画の変更(学校給食センター新設などを追加)	平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)(176万円の追加)
湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更(サン・グリーンゆざわを湯沢市に譲渡するための変更)	平成26年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)
湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更に伴う財産処分(サン・グリーンゆざわを湯沢市に譲渡する財産処分)	平成25年度一般会計歳入歳出決算認定
財産の処分(成瀬ダム建設事業に伴う村有地・立木の処分)	平成25年度国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例(8ページに掲載)	平成25年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算認定
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(8ページに関連記事)	平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(8ページに関連記事)	平成25年度介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定
畜産施設条例(8ページ参照)	平成25年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定
公共牧場条例について(8ページ参照)	平成25年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定
簡易水道事業費分担金徴収条例の廃止(9ページ参照)	平成25年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例(9ページ参照)	工事請負契約の締結(9ページ参照)
平成26年度一般会計補正予算(第3号)(9ページ参照)	工事請負変更契約の締結(9ページ参照)
平成26年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)(1212万円の追加)	工事請負変更契約の締結(9ページ参照)
平成26年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)(435万円の追加)	

時代の潮流への挑戦!

県南3カ町村議会議員研修会

7月23日、羽後町において県南3カ町村議会（美郷町・羽後町・東成瀬村）で組織する連絡協議会の研修会が開催され、本議会から9名の議員が参加しました。

今年度は、総務省から県庁へ出向され、現在は財政課長として活躍されている光永祐子氏の講演会で、秋田県の人口減少対策や今後の農業政策などをお聴きしました。



講師となった秋田県財政課長の光永氏

8月臨時会議

8月11日に臨時会議が開催され、契約案1件が提出され、全会一致で決されました。

— 主な内容 —

○防災デジタル無線（同報系）施設整備工事

栗駒山荘に屋外拡声子局を追加で設置すること、異常伝搬減少対策として、親局にアンテナを追加し、切り替え運用を行うために工事を変更する内容となっています。これに伴い、次のように変更契約を行う。

(契約額)

変更前 1億8796万円

変更後 1億9239万円

変更額 443万円

(工事期限)

変更前 平成26年8月29日

変更後 平成26年10月2日

より親しまれる紙面づくりを!

議会広報研修会

8月8日、秋田市で県内町村議会を対象とした議会広報の研修会（主催：県町村議会議長会）が開催され、本議会から4名の議員が参加しました。

研修会は、町村議会広報紙コンクールの審査委員となっている芳野正昭氏で、数字の表記や読まれる紙面づくりを解説していただきました。



視覚的で分かりやすい研修会でした

今後の政治と町村議会はどうなる?

町村議会議員研修会

8月8日、秋田市で県内町村議会議員を対象にした議員研修会（主催：県町村議会議長会）が開催され、本議会から9名の議員が参加しました。

研修会は、明治大学経済学部の牛山教授と時事通信社解説委員で政治評論家の田崎史郎の2氏による講演会でした。



時事通信社解説委員 田崎 史郎 氏

常任委員会合同 視察レポート

衛生と食育に配慮、災害時の非常用設備も

8月28日に常任委員会合同で管外視察を実施しました。今回の調査事項は建設が予定されている学校給食センターで担当する教育委員会事務局から教育長と総務課長に同行を求めて実施しました。視察地は、県内町村とし、藤里町と上小阿仁村で調査を行いました。

見せる調理場

藤里町学校給食センターは平成25年度から稼働しており、構造は2階建てで事業費は約2億9500万円、衛生面を考慮し、ドライ方式を採用したとのこと。

2階は職員の休憩室と会議室があり、廊下から調理室を一望できるようになっています。文部科学省が推進する食育などに対応したとの説明がありました。



2階から調理場が一望できました(藤里町)

また、敷地内には災害時の炊き出しなどに活用するため、大型のガスタンクが設置されており、非常時への備えも考慮した施設となっていました。

学校と直結

上小阿仁村は、現在、建設中で、稼働は平成27年1月14日を予定しているとのことでした。平屋で学校敷地内へ建設しており、給食センターと学校が渡り廊下で結ばれ、給

県内2町村の学校給食センターを視察

食は教室で食べる方式にするとのこと、事業費は約2億円です。

藤里町と同様にドライ方式で、調理室の一部分をガラス張りとして見学できる食育スペースを設けています。



上小阿仁村は基礎工事の段階でした

視察を終えて

本村の大型教育施設としては、最後と考えられる学校給食センターです。議会として、こうした視察結果を提言していきたいと思えます。

議会視察団ラッシュ！ 村教育を探る



小学校の授業を参観する加美町議会の皆さん

9月30日に宮城県加美町、10月7日に茨城県東海村、10月14日に山形県三川町の3町村議会の皆さんが本村の教育を視察されました。

主に常任委員会による調査で、学力向上対策として学校の授業を中心にどのような教育施策が展開されているのか、総合的な視点から調査が行われました。

質疑応答や意見交換も予定時間を超過するほど熱心でした。



スポーツウーマンらしく明朗快活！とっても素敵な方です(左:佐々木さん)

この人に聞きたい

かほ KahOの突撃



いんたびゅう

今回は今年の4月から村社会福祉協議会で福祉活動専門員として村内を巡る佐々木加奈子さんにインタビューしてみました。

かほ 田子内ですよ？年齢？いんですか。
佐々木 そうです。田子内です。27歳になってしまいました(笑)。
かほ 結婚適齢期ですね？彼氏？
佐々木 エー、秘密です！
かほ いるということにしておきます(笑) 家族は？
佐々木 両親と兄、兄は県外で働いています。
かほ あつ、岩井川の佐々木さんと親戚？
佐々木 そうです。芳隆さんは叔父になります。
かほ 趣味、マイブーム、休みは？
佐々木 体を動かすことかな。今はジムに通っています。友達と遊ぶとか。..
かほ そうだ、この前の県駅伝大会のメンバーでしたよね？
佐々木 補欠でした(爆笑)でも、応援頑張りました！
かほ エラうい！スポーツウーマンって感じですね！
佐々木 小中でバスケ、高校でハンドやっていました！
かほ あつ、この前、プロバスケツトが来たとき見かけましたよ！好きな食べ物は何？
佐々木 お米です(爆笑)。
かほ いいですね！お米！変わりますが、社会福祉協議会ではどのようなお仕事されていますか？
佐々木 一人暮らしの方を訪問して相談を受け付けたり、ボランティアの皆さんの活動をお手伝いしたり。..いろいろなやっています。

かほ 社会福祉士？
佐々木 そうです。大学時代に資格を取って、最初は雄勝の愛光園で働いていました。
かほ そして、村へトラバーク？
佐々木 やっぱり、地元の役に立ちたいと思って。村に在ると何か、すごく安心感があります。
かほ 自分の性格は？
佐々木 マイペースかな。おっとり型かな。限りなくO型に近いA型の血液です(笑)。
かほ 村の議会をどのように感じていますか。期待することなど？
佐々木 正直なところ、あまりよくわかりません。家の前に議員さんがいらつしやいますが。..
 村の福祉向上、村の皆さんがいつまでも幸せに暮らせるよう導いてほしいです。
かほ 好きな言葉？これ聞きたい。
佐々木 一期一会です。
かほ 良い言葉ですね。誠意を感じる言葉です。ピットリですね。最後に皆さんへメッセージを！
佐々木 皆さん、いつもありがとうございます。4月からお世話になっておりますが、私を知らない方がほとんどだと思います。これを機会に知っていただければ大変嬉しいです！
 どうぞ、よろしく願います。
かほ 今日はお忙しい中、ありがとうございます。これからの活躍をお祈りします。

暫時休憩
 さんじ 休憩
 きゆうけい

▼今年の県産秋田こまちの一等米60キロの概算金が8500円で、昨年比3000円安になり農家の苦渋が大きい。村の米対策激減緩和補助金で上乗せがあるようだが少額といえ貴重な施策である。

▼国の今年度からの米政策見直しでは食用米に変わる加工用米や飼料米、米粉用米の作付けを奨励しているが、これらをうまく活用した所得向上が懸念だ。

▼村の農業法人が5つ設立した。法人が主体になって米以外の多角的種目に挑戦して四季をとおした所得を得る仕組みづくり、実践こそが今後農業の生きる姿と期待したい。

▼文科省が4月に行った全国学力テストで本県が7回連続全国トップクラス、その中でもわが村がトップクラス。経済等暗い世情で小さくてもピカリと輝く。誇らしい。

(委員・佐々木健夫)